

第 26 回宗教文化士認定試験 記述式問題

問 国内に住んでいても、また国外で生活する場合にも、宗教や宗教文化についての基本的知識を得ておくことが必要な時代になってきている。これに関して、以下の A と B からどちらか 1 つ、及び C と D からどちらか 1 つを選んで、2 つの事項について全体で 800 字以上 1,000 字程度で自分の意見を述べなさい。

各回答文の最初に必ず選んだ記号を書くこと。また 2 つの事項に関する記述の字数の割合には多少偏りがあってもかまわない。記述は一般的、抽象的な内容で終わるのではなく、具体的な事例を含むこと。

*下書きに WORD など文書作成ソフトを用いて、字数のカウントや一時保存に用いてもかまわない。

事柄

A 多くの外国人が働いている職場で、最低限身につけておいた方がいい宗教や宗教文化の基礎知識にはどのようなものがあると思うか。

B 留学や就労などで日本に住むようになった外国人に、日本の宗教や宗教文化の基礎知識として伝えておいた方がいいのはどのようなことと思うか。

C 南アジアあるいは東南アジアへの留学、あるいは勤務が予定されている場合は、とくにどのような宗教や宗教文化の基礎知識を得ておいた方がいいと思うか。

D 欧米への留学、あるいは勤務が予定されている場合は、とくにどのような宗教や宗教文化の基礎知識を得ておいた方がいいと思うか。